



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『エンジョイロータリー』

～Enjoy Rotary～

東京六本木ロータリークラブ会長

W E E K L Y R E P O R T

『夢をかたちに』

～ Make Dreams Real～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年12月8日

No. 17



平成20年11月17日

卓話 『気高き日本創造に向けた日本JCの今年度の活動について』

社団法人 日本青年会議所

会頭 小田 與之彦様



皆さんこんにちは。今日は、日本の若者は
どうしているのか、何をやってきたのかご
報告したいと思います。JCは1951年にでき
てから明るい豊かな社会を築こうという合言
葉のもと、国を良くしよう、誇りが持てる国
にしよう、子どもたちが希望が持てる国にし
ようと活動してまいりました。私はJCの最
終的な目的は「社会と人間の開発」に尽き
ると信じています。社会を開発する事業を
計画、実行、検証する過程を通じて人間性
を高め、社会に役立つ人間を作るのが第一
の目的です。会員は90年代初頭は67,000人
ぐらいいたんですが、厳しい経済状況が続い
て4万人まで減っています。ですからメンバー
一人ひとりのレベルアップとともに会員の拡
大をしていかなければいけない状況です。日
本青年会議所は毎年1月1日から12月31日ま
でが会頭の任期です。私は今年「気高き日本」
を作っていこうというテーマを掲げました。

日本JCは711のロム会員、会議所でできて
おりまして、私は大きく分けて3つの役割が
あると考えています。1つは日本という国が
どうあるべきかを会員が議論し、国内に提案
していくこと。もう1つが国際のこと。そし
てもう一つは地域の青年会議所が誇りを持っ
て活動できるよう支援することです。倫理道
徳教育プログラムは、2005年に愛・地球博が
行われたとき、物を粗末にしない、おじいちゃん
おばあちゃんを大切にしよう、先人の言う
ことは聞こうといったことを伝えるDVDを作っ
て上映したんですが、それを使って子どもた
ちに倫理を教える運動を全国176箇所でした
しました。それと日本が自虐史観が強く国を
誇りに思わない人が多いんじゃないかという
ことで、この国の良い部分を伝えるビデオ「誇
り」を一昨年作り、それを全国77箇所でさ

せていただきました。
また環境についても3
つのアクションプラン
を募って、チームマイ
ナス6%ということで
月間1,000km車で走る
家庭があったら、その
うち60kmは自転車で
行きましょうという運動、
月に1～2回蝋燭の火



で生活して環境の大切さを家族で共有しよう
という「月蝕」、マイ箸など恒久的に使える
ものをJCメンバーが率先して使う大人の背
中運動を提案しました。もう一つ、憲法改正
に向けたタウンミーティングを全国60箇所
で開催しました。これは是非対立軸をもってや
ろうということで、社会党や共産党の国会議
員の人にも来ていただいて、なぜ9条は変え
なきゃいけないのか、なぜ守らなければい
けないのか、基本的人権について書かれた第3
章も、自由と権利という言葉は23箇所あるの
に義務とか責任という言葉は3回しか出てこ
ないことが、今、行き過ぎた利己主義につな
がっているのではないかといいことも議論し
ました。

麻生総理大臣は今から30年前の会頭です。
そのときの麻生さんの言葉を紹介させてい
たできます。「もし青年と呼ばれたいなら自分
の理想の現実化に悩むべきであり、安易な妥
協に流されるべきではない。青年が既存の秩
序に封じ込められ、平凡かつ惰性に満ちた生
活を望むことは、日本にとって大きな病根に
なると自戒しなければならない。」30年経
った今も青年会議所の考えは変わっていない
と思いますし、これからも取り組んでまいり
たいと思います。ご静聴ありがとうございました。